

しっかり応援 プロジェクト 販路開拓

54人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

甘く広がる珠玉の味わい 「京のべっぴん甘恋トマト」 中村農園

商工会議所が主催する商談会には積極的に参加するようにしています。たとえ直接的な取引につながなくても、バイヤーのちょっとした一言が今後のビジネスのヒントになることも少なくありません。最近では、新聞やテレビに取り上げられる機会も増え、地域の人たちもたくさん訪れてくれるようになりました。

27年1月 商工会議所との出会い

味にこだわり、何度も改良を重ね、ようやく納得のいくトマトができ、多くの人に届けたいと考えていましたが、生産農家の私たちには、“売る”ためのノウハウやネットワークがありませんでした。商工会議所の存在を知り、相談したところ「京のイチ押し商品売り込み商談会」への参加を勧められました。商談会では、なかなか直接交渉することが難しい大手流通バイヤー数社と意見交換ができ、青果物であるトマトとトマトの加工品を一体的に提供することによって、当社のブランド価値を高めていくという“売り方”のコンセプトを明確に定めることができました。

人のつながりが拡大

その後、27年11月には、より大きな市場を目指して、商工会議所などが主催する東京での展示商談会「京都知恵産業フェア」に出展しました。B to B の商談会には、“新しい京都”を求めるバイヤーが集まる中、これまでの経験を生かして開発した「トマトだし」や「トマト茶」に注目が集まりました。また、首都圏での顧客開拓という同じ目的を持った他の出展者との交流も生まれ、取引先を紹介いただいたり、新たな商品開発の問合せを受けるなど商機が広がり、出展によって貴重な繋がりを得ることができました。

加工品の魅力を発信

ほかにも、商工会議所の助言を得て、補助金を活用してオンラインショップを開設し、個人向けの販売にも取り組んでいます。また、ホームページでは、当社のトマトへのこだわりやおいしさに加え、トマトだしやパスタソースなど加工品を美味しく味わっていただくレシピも公開し、消費者への魅力発信にも力を入れています。



セールスリーダーの中村 仁美さん

担当支援員より

果実がギュッと詰まった濃厚トマトと、お客様を大切に想い、家族一丸となって取り組む姿勢が、マスコミの注目を集め、また多くのお客様を魅了し、中村農園のファン急増中です。引き続きファンづくりのお手伝いできればと思います。

企業概要



独自の樽栽培で育てた、甘みたっぷりの「京のべっぴん甘恋トマト」が人気。また、トマトのうま味成分を凝縮したトマトだしやトマト茶、市場に出回らない青い実を使ったトマトジャムなどユニークな加工品を提供する。週末のみオープンするカフェ「Seed House」では一日一組限定のトマトランチが堪能できる。



中村農園

代表者／中村 尚司
住 所／京都市右京区嵯峨野高田町19
TEL / 075-406-7058
URL / <http://www.nakamura-f.net/>